

生研ニュース

第3回生産技術研究所協議會

—26年3月9日、東京大學において—

8カ月振りに開かれ、前半は研究事項の展示、後半は會議に入り、前回の諸報告と研究助成機關の設立世びに研究委託の増加方策を議題として議した。

協議員の異動として、25年12月7日附前東大總長内田祥三氏の新任、26年1月10日科學研究所社長仁科芳雄氏の逝去が報告された。

研究助成機關として外部團體を設立することは、従來手續上に困難があるように考えられていたが、GHQ關係については誤傳であることがわかつた。資金面については協議員側から好意的發言もあつたが、所長としては單なる寄附では寄附者に迷惑もかかるので、十分理由の立つ方途を考えたいが、差當つては東大内の既設の綜合研究會をできれば利用する方向を考えたいと答えた。

部 外 活 動

—講演—

◇講師 藤森榮二「アルデヒド」およびケトンの螢光反應の螢光スペクトル變化について」日本化學會、電子狀態討論會 (1950・1・20)

—寄稿—

◇助教授 淺原照三、教授 増野實外「クロマトグラフによる脂肪酸の分離」工業化學雜誌(1950・1月號 70頁)
 ◇助教授 中村亦夫「澱粉酸糖化醱酵殘渣の研究(第1報)」同上(同上 137頁)

— 著 者 紹 介 —

- ◇宗室 尙行 工學部教授、專攻工業分析
- ◇高橋 武雄 所員教授、專攻有機工業分析化學
- ◇岡 宗次郎 所員教授、專攻無機工業分析化學
- ◇中村 亦夫 所員助教授、專攻、醱酵學
- ◇仁木 榮次 所員助教授、" 特殊分析化學
- ◇森 龍太郎 旭硝子株式會社技師(無機研究室)化學工場用計器の研究
- ◇菊池 眞一 所員教授、專攻電氣化學及光化學
- ◇橋口 隆吉 工學部教授、專攻理論合金學
- ◇藤森 榮二 所員講師、專攻特殊分析化學
- ◇倉谷 健治 理工學研究所助手、專攻物理化學

- ◇江口 雅彦 所員助教授、專攻物理工學
- ◇淺原 照三 所員助教授、專攻油脂及燃料化學
- ◇富永 五郎 所員助教授、專攻應用物理學
- ◇荒木 峻 工學部助教授、專攻工業分析
- ◇福田 義民 所員教授、專攻化學工學
- ◇東畑平一郎 講師 " "
- ◇武藤 義一 所員助教授、專攻無機分析化學
- ◇野村 氏也 所員助教授、專攻電氣工學
- ◇澤木 司 大學院學生、專攻應用光學
- ◇坂口 喜堅 大學院學生、專攻應用光化學
- ◇坪井 正道 理學部化學、" 物理化學

編 集 後 記

◇百花繚爛の春を迎え、今回は工業分析特集號を企劃した。元來分析學は化學の分野においては最も基礎的な部門に屬するが、この分析法がしつかり根を張れば絢爛とした化學工業の花も咲きそろわうわけである。内容を一見しても、化學分析法が如何に物理學、應用物理學の進歩に負うところが多いかがわかる。ノーベル賞に輝く印度のラーマンの發見も化學の領域においてすばらしい應用面が開かれ、化學分析および分子構造決定に重要な役割を演じてきた。すなわち分析學と化學が相提携して初めて分析學の飛躍的進歩が實現されることとなる。この物理學と化學の

提携は、別の見方をすれば生産技術研究所の姿でもある。當生産技術研究所の發展とともに第二、第三の工業分析特輯號が期待される所以も存在することになる。

◇海外ニュース欄も設置後1ヶ月を経過したが、準備の不足からお粗末な内容に墮してしまつた。讀者諸賢の御希望や、忌憚のない御意見を承らせていただければ幸である。

◇なぜ、本年3月當所所長の職を去つた瀨藤象二教授の年來の抱負をまとめて論説とした。同教授の長年學界、業界に盡してきた面目を本文より汲んでいただければ編者望外の喜である。(T.A.)

吾兒の齒の二つそろへり燕來る
 春草に荷馬は馬にかへりけり

編 集 委 員

- 編集委員長 星 合 正 治
- 編集委員 三木五三郎 宮津 純
- 元良 誠三 丹羽 登
- 星野 昌一 濱口 隆一
- *淺原 照三 松下 幸雄
- 小川 正義 *江口 雅彦
- 森 大吉郎 小瀬 輝次
- *藤森 榮二

編集幹事 下村 潤 二郎

編集室 水野 晴 明

(*印は當番委員)

予 約 申 込
 本誌は性質上市販僅少につき直接發行所宛に予約ねがいませす。
 一年分 840 圓
 半年分 420 圓
 予約の方の送料は本社負擔

第3卷第4號 生産研究 定價120圓(郵税6圓)
 1951年3月25日印刷 1951年4月1日發行

編 集 者 星 合 正 治
東大生産技術研究所
 千葉市千葉區内彌生町
 電話 千葉 366-370

發 行 者 小 川 誠 一 郎

印 刷 者 井 關 好 彦

印 刷 所 大 同 印 刷 株 式 會 社
東京千代田區神田錦町3-1

發 行 所 株式會社 誠 文 堂 新 光 社
東京千代田區神田錦町1-5
 電話神田(25) 2126-2130
 振 替 東京 6294・6567